

さくま誠 便い

2016 年秋季号
名寄市西5南12
さくま誠 後援会
☎ 01654-3-9260
発行責任者
菅野 孝

不況の
対策
を
講
じ
たい



離農抑制策を講ずべき

問 TPPが批准された場合の畑作及び酪農・畜産農家への影響は？

また、急速に進んでいる離農抑制策として小規模農家、兼業農家への支援策を講ずべき。

答 北海道の農林水産物の影響額は402億円～598億円程度目減りする。

名寄では小麦・甜菜・牛肉が影響を受けると想定され、影響額は慎重に分析し算出したい。

平成27年農家戸数は、は593戸と平成22年と比較すると121戸減っている。農家人口を減らさない取組と共に、軽重作物の導入に向けた試験研究と栽培技術の普及に取組んで参りたい。

佐久間議員は、北見、佐呂間、津別町などで取組まれている「小

規模農地活用・高付加価値型農業による地域づくり支援事業」の実例をあげ、名寄市でも参考になることから研究を求めました。

また、一次産業での産出額が下がると、二次産業や三次産業まで含めた経済への影響はおよそ七倍になるといわれており、対処方針を示す意味合いからも名寄市におけるTPP批准の場合の農畜産物への影響額を早期に試算するよう求めました。

市役所庁舎の

今後の考え方について

問 名寄庁舎が建築後48年、風連庁舎が36年となる。耐震診断においても耐震強度不足の不安を抱えている。今後10年間の間で、どこまでを展望するのか見通しについて伺う。

答 新庁舎建設は重要な課題の一つであり、第二次総合計画を進める中で時間をかけ丁寧かつ慎重に、近隣市の状況を参考にしながら議論を進めて参りたい。

宗谷本線の維持・存続を

問 JR北海道は利用状況の悪い8区間として宗谷本線（名寄・稚内間）を、道内6番目にあげている。道内選出国會議員の力も借りて、超党派で維持・存続の働きかけをすべきと考えるが市長の決意をお聞きしたい。



※宗谷本線は豪雪地帯の生命線

答 国がかなり踏み込んで抜本策を講じなければ路線維持は難しいが、豪雪地帯の鉄路の重要性、国土保全の観点、観光庁の広域周遊ルートにも逆行する動きだ。

10月上旬、全道市長会の要請に参加すると共に、宗谷線活性化推進協議会としても要請活動を粘り強く行ってゆく。

空家対策について

●空家等に関するデータ集積状況はどの程度進んでいるのか、またこれまでの空家対策等の実績について伺う。

●電線などに掛かる立ち木対策について

空家周辺の立ち木が、電線や通信ケーブルに掛かっている場合の処理について、枝払いや芯止め伐採などの適宜な対策はどのように考えているか伺う。

住民票の取扱いについて

●他の市町村から入学されている名寄市立大学学生のうち、名寄市に住民票をおいている学生はどの程度いるか。また、入学時の転入届提出の啓発はどのように行なっているか伺う。

●国勢調査人口と住民基本台帳人口の差についてどう分析しているか伺う。

●住民票異動の法的根拠と転入届提出促進対策について伺う。

※紙面の関係で詳細は別の機会に報告させていただきます。

決議された意見書

◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書◇後期高齢者医療制度における保険料軽減特例の維持・継続を求める意見書◇公共輸送機関であるJR北海道等に係る経営支援策を求める意見書◇農業・農村を衰退させかねない農政改革と

TPPの拙速な国会承認の反対を求める要望意見書——など6本を採択しました。

名寄市総合計画（第二次）での

集中審議 10月11日～13日

平成29年度から10年間の街づくりの行動指針となる名寄市総合計画（第二次）の集中審議は、「市民議論や意見反映は十分と言えるか」「市民憲章や四つの都市宣言を生かすべき」「市長任期と連動させた期間設定の在り方は妥当と言えるか」「地域自治区設定の在り方」などの様々な観点から市民連合・凧風会としては「少数否決されようとも修正案も辞さず」の構えで臨み、白熱した議論が展開されました。

最終日冒頭、加藤市長から二日間の議論を受けて四点の発言、橋本副市長から補足説明を引出し、「市民対話をしっかりと担保することなど、私たちの考え方が概ね受け止められたとの判断に立って基本構想・基本計画案を採択し終了しました。

粒粒辛苦

りゅうりゅうしんく



温暖化のいたすらか？予期せぬ台風が北海道まで上陸する近頃、油断のできないことになってきている▼北海道も亜熱帯型の気候

になってきたか▼鮭の取れる季節に稚内では小型のブリが揚がっているというから驚きた。海水温度の上昇も台風上陸と関係しているのか心配だ▼先ごろ連れあいが「老人とシニア」の話を切り出した▼名寄市の高齢化率も31.0%に到達し、市内の三人に一人は「高齢者」の時代▼おとうさん、自分で「老人」だと思ukai?▼…そうだなあ、60は超えたから、言われりゃ老人か。孫もいるし：▼あのね、結構「老人」って言葉、抵抗あるみたい。でも「シニア」だと納得するんだって▼なるほど、「シニア」「シルバー」だと聞こえはいいかも▼「老人クラブ」よりは、「シニアクラブ」「シルバーサロン」だと抵抗ないかな?▼昔と比較して退職者もまだまだ若いし、元気。かつては「定年満」なんて言葉すらささやかれていた時代もあったことを思い出す。▼忙中閑の楽しみは孫とのふれあい。三歳になる姪と連れあいの実家で合流し遊んでいた時のこと。実家は平屋のスペースなのだが：▼孫に「じいちゃん行こー」と、呼ばれていくと玄関先で立ち止まり不思議そうに振り返った孫、「ねえ、じいちゃん二階どこにしまっちゃったの?」どうやら名寄で遊んでいると錯覚したか?▼こんな可愛い次世代たちが困らないような環境を未来につないでいきたいものだ。